

雜 錄

●製鐵合同と關稅問題

服 部 漸 氏 談

臨時經濟調查委員會に出席せる八幡製鐵所服部次長は民間製鐵救済に就き語る。五大製鐵所合同が確定した様に傳へられてゐるが、事實は其れ程具體的には進行してゐない、製鐵業は小規模なのは甚だ不經濟で合同實現は望ましいが委員會では未だ決定を見ない合同の方法としては共同扶助又は事業の聯絡等は容易な方法だと思ふ、同案が委員會の確定議となつて今期議會に上程さるゝや否やは未定である鐵の關稅に關しては製鐵業者、造船業者共に全廢を主張してゐるが全廢反對論は現在各種機械で製作後は一千圓の價格を有するものに原料である鐵に噸二十圓内外の關稅を賦課する事は別に苦痛ではなく鐵の内國產を保護する意味で之を全廢するのは不可だといふにあるが、造船材料の關稅撤廢は造船獎勵の意味からも多少考慮すべき事情がある、當局にては目下調査中だから鐵關稅廢止案が今朝議會に上程さるべきや否やは是亦未定だし運賃備船料とも軟調の趨勢にあり、一方翻つて我海運界を觀るに近海、遠洋航路の荷動き依然閑散にして就中遠洋復荷は財界不安に據る輸入取引杜絶のため殆ど皆無の有様にて社船と雖も配船難に陥

りつゝあり、殊に社外船の如きは荷動き不振の打撃甚だしく船腹消化の見込みなく經濟上多大の苦痛を感じ居れり、而して荷動きの不振は各船會社の競争を演出するに至つて荷主益々強硬なる態度を持し居れるため各航路の同盟加入船は社外船との競争及荷主の強硬なる態度に協定運賃を切崩さるゝに至り、現に歐航同盟の長江以北より歐洲に輸出の豆、種子類の協定運賃は百十四志一割戻しなるも今回該運賃に限り割戻制度を除外して自由積取となせるが如き其の證左と觀るを得べく、獨り長江歐洲間の協定運賃のみに限らず各航路の同盟運賃界は自然脅威さるゝに至り協定維持困難となれる傾向ありと。

製鐵所の内情 各省豫算の切取も大概濟んで大正十年度の豫算も始と決定してゐる筈だが我が八幡製鐵所の豫算も勿論決定して居るものゝ議會の協賛を経べき必要あり、果して如何になるかは不明だが製鐵所としては此際是非とも國民の前に其の真相を發表して諒解を得て置く必要がある製鐵所は創業以來明治四十二年までは缺損續きで同氏の胸奥には常に製鐵所は損する所であると云ふことが深く刻み込まれて居る様な觀があつた、製鐵所は今日の事業擴張を爲すまでには多大なる支障と困難とがあつた、併し乍ら明治四十三年以降は毎年相當の利益を收め殊に大正六年には三千萬圓、七年には五千七百萬圓を利益したことで大正七年の決算に依れば創業以來の缺損全額に年六分の利息を附

し缺損額を差引いて尙二千萬圓の純利益を収めて居る、孰れの事業でも創業後何年間かは此やうな事業の困難、缺損をすることは寧ろ當然のことであつて苟くも事業經營眼ある者には何等問題とする必要がない、要するに今日でも製鐵所は最早目立つた事がない以上缺損することはないと思ふ、日本の製鐵所は米國の斯業者との事業状態を比較すれば其内容に於て異なる所あり、即ち日本で製鐵所と云へば單に鑛石から鐵を製造するだけであるが、米國の製鐵所は單に鐵のみと云はず鐵材を要する事業例へば造船橋梁、建築用の組立に至るまで一切を引受けて遣つて居る、之に依つて多額の生産額の減少を圖ることが出来る、日本に於ても此域に達することは理想であるが夫れには金融其他の關係から總て困難の事情がある、今後我製鐵所は假令少量であつても注文があれば何でも製造する積りである云々。

●馬來に於て邦人鐵鑛探掘權獲得 新嘉坡に石

原洋行なる輸出入商を開業せる石原廣一郎氏は本年初め新嘉坡日本商品陳列館に假泊して從來半島方面に於ける鐵鑛調査中なりし八幡製鐵所技師田上氏に依頼して豫て企畫し居たる柔佛州ジョホールバトバハ河の上流二十哩の地點に在るシンバングリの鐵鑛の檢分をなせしに甚だ良好にして探掘有望なることを知り直に商品陳列館等の援助により試掘權を出願して許可されたるを以て歸朝し松方幸次郎氏七十萬圓を支出し、愈々探掘することに決定し、探掘賣却方に就き臺灣

銀行頭取中川小十郎氏の紹介にて白仁八幡製鐵所長官に會見して八幡岸壁渡噸當り十九圓にて年十萬噸宛を引渡す契約出來せるを以て最近新嘉坡に探掘器械及び技師到着を待つて直に探掘に取り掛るることになりと、而して柔佛州に於ける探掘權は既に外務省よりの訓電に依り新嘉坡總領事館等の盡力に依り獲得せるも只柔佛州より鐵鑛を輸出するが如きことは未だ嘗つて無きことなるを以て果して許可さるゝや否や、更に高率輸出税を課するにあらざるかは未だ問題なり、此鐵鑛は既に以前目をつけたる人も有りしが未だ誰人も手を下さざりし物にて柔佛州の西海岸に流れ込むバトバハ河の上流二十哩の地點より多少奥に入りたる所に在り百英加の地に高さ三百二十呎に自然露出しつゝあり、露出高約七十萬噸と稱せられ若し地中にも埋藏されつゝあれば其埋藏畫は幾何なるや知れずと、而して鑛質は東京大阪の各府縣廳鑛務局及び八幡製鐵所に於て分析したる結果によれば平均七十五%のものにして甚だ良鑛なりと只問題なるは常規の運賃を支拂ふに於ては(新嘉坡九州噸十六弗)到底引合はざるを以て之が輸送船舶に對しては相當頭を悩ましたる模様なるも幸ひ三井の日本炭輸送船の復航と川崎汽船を利用することとなり、之も既に噸七圓にて契約成立したりと云ふ馬來半島は鑛物相當豊富にして先人の未だ手を下さざる鐵鑛も尙相當有る模様なれば將來此地に於て邦人の鑛物探掘權を獲得する上に於て今回石原氏の探掘權獲

得は良好なる結果を齎すべし。

●製鐵事業保護問題

政友會政務調査會にては十月二十二日午後二時より農商務部會を開き今泉部長、梅田副會長、各部員及び高橋理事廣岡幹事長、岩崎、前田、山口各幹事等出席し、先づ今泉部長より製鐵事業に關する調査方針に就き大體左の如き意見を陳述せり。

元來製鐵事業は一般工業と相違し著しく國家的色彩を帶びたる事業なるが左ればとて之れが民營事業を廢し官營事業とすれば却つて其の發達を害するものあり、今日各國とも民業に保護獎勵を加へ居る有様なり我國の幼稚なる製鐵事業界の現状にては一面十分なる當業者の覺醒奮發を要すると同時に政府も亦周匝なる保護獎勵の策を盡さざる可らずと信ず、保護獎勵の具體的考案に就ては種々の意見もあれど英領加奈陀の如く事業其の者の獎勵よりは關稅政策に依る保護が營業の發達上有益にして無害なることは殆んど定論と云ふべく各國凡て此の政策を執り居れり、然らば我國の保護政策を如何にすべきやに就ては現狀に放任して自然の發達に俟つべしと爲すもの、民業の合同を計り其發達を促進せしむべしと爲すもの、官民合同の事業經營に依るべしと爲すもの、全然官營主義に依るべしと爲すもの等あれど大體是等を參照して今日一定の長計を樹立するは刻下の急務なるべし。

と述べ夫れより各自意見の交換をなしたる後、製鐵事業者の合同問題に關し小委員を設けて調査の歩を進むる事として部長より左の三氏を指名し三時半散會せり。

松浦五兵衛 上塚 司 大塚 榮吉

右小委員に正副長參加の事とせり。

●砂鐵團鑛法の研究

巴里講和會議以來支那各地に於ける日貨排斥猖獗を極め之が爲め日支貿易上に打撃を受けること尠からず、此形勢より推察せば或は同國より帝國への鐵鑛供給は阻碍又は杜絶せらるゝことなきを保せず、當時歐洲戰爭終了し國際聯盟既に成案を得たりと雖も帝國四圍の狀況は國防上一日も之を怠る可からざるものあるにより、軍事上製鐵原料自給策につき焦慮しつゝありし際醫學博士岸一太氏より帝國內に豊富なる砂鐵を壓搾熔結して團鑛を作り普通鐵鑛に代用する鐵原料自給を良策とすとの提言あり從來の調査に依れば砂鐵の存在區域は廣汎にして就中北海道噴火灣沿岸、青森縣下北部、岩手縣九戸郡には多大の砂鐵を見る鑛量數億に達すべく資源として不足なきと砂鐵を以て團鑛を製出し得るや否やは未だ徹底的に解決しあらざるにより之が解決急務なるを認め昨年九月臨時鐵原料研究委員を任命し砂鐵所在地たる青森縣下北郡野中に研究場を設置し其研究に着手せり、爾來同研究場に於て研究に従事すると同時に大倉組の好意により本溪湖製鐵所に於ては磁鐵鑛の粉鑛を用ゐる團鑛製造設備を利用し一部の

實驗を爲し砂鐵を以て普通熔鑛爐の使用に堪ふべき團鑛を製出し得ることを確め初期の目的を達したるを以て本年九月三日を以て一先づ本研究を打切りたり、陸軍に於て右の研究を爲したるは一に國防上の見地に基くものなるを以て必ずしも經濟を顧慮せず、又團鑛を以て有事の際鐵鑛石の不足を補ふを目的としたるを以て普通鑛石と混用し得るに至るを以て満足せり、然れども尙之に次ぎて經濟的團鑛製造法を研究するの必要あり、之に成功せば帝國製鑛業に一大光明を齎すべく又團鑛法研究に引續き砂鐵鑛のみを用ゐる製鐵法研究を開始し砂鐵利用の研究を徹底的ならしむるの必要ありと認めたるにより目下本件に關し關係官衙と協議中なり、由來帝國は鑛物の天恵に乏しと稱せらるゝ、研究其道を盡せば利用し得らるべき資素尠からざるが如し、砂鐵の如きは確に其一なりと信ず。

●九州地方の砂鐵鑛 國防上に於ける自給自足の見地より砂鐵を利用して普通鐵鋼の代用品を得んとするの研究着々として行はれ岸博士の研究の如き稍成功に近く今や識者の注意を喚起するに至りたるが、岸博士が研究所を設置せんとする青森並に岩手縣地方の砂鐵區埋藏砂鐵量は數億噸に達すと傳へられ之れに我邦各地に存在する埋藏量を加ふるに於ては驚くべき數量に達すべきが、今九州山口沖繩九縣下に於ける鑛區に就て見るに砂鐵熱の最も勃興したりし大正七年末現在に於ては稼業二十九休業七十七鑛區の

面積約八百七十餘萬坪(四十餘里)に亘り驚くべき數字を示し居れるが、昨今の如き鐵價の暴落せる際にありては稼業鑛區は至つて少く大正八年に於ては砂鐵大分八萬五千百十五貫、鹿兒島二百十四萬五千九百十四貫、銑鐵熊本九萬九千九十貫に過ぎざりしも、若し砂鐵より經濟的に前記普通鐵鋼代用品を得るの道進捗するに於ては鹿兒島縣熊毛、肝屬、曾於、合良、川邊、宮崎縣宮崎、大分縣逸見、東國東熊本縣菊池の諸郡の如きは最も有望なる鑛區たるべしと。

●北樺石油試掘 其筋の調査に依れば北樺太に於ける主要原油產地左の如し。

オハ原油 オハ川の上流に大小無數の露頭地あり、ゾトフ氏鑿井一個あるも他は顧みられず。

ヌトオ原油 ヌトオ川に沿ひ種々の形狀をなして露頭す、中大なるもの五個あり、チャイナ、オイル、コンパニー技師クレー氏の試鑿井ありしも現今廢棄の儘。

バターシン原油 バターシン川の上流に在り、大なる露頭を見ざるもヌトオ、バターシン間道路の兩側地區には諸所に原油の露頭を見る。

ウイナ原油 ウイナ川の上流に在り、露頭は大ならざるも原油量豊富なるが如し。

ノグリーク原油 ノグリーク川の上流に在り、先年ゾトフ氏の試鑿井ありしも現今廢棄の儘。

右調査に據れば一見油產地として有望なるかの如くなる

も本年實地踏査したる農商務技師の談に依れば原油の成分は全道を通じて比重〇、九内外にして餾出試験の結果は百度に於て零プロセント二百七十度迄にて燈油二八、五プロセント二百七十度以上三百百度迄にて下等燈油一五、九プロセント、三百度より三百六十度迄にて發動機用輕油八、九プロセント、三百六十度以上の餾出重油三五、一プロセントにして殘滓一一、九プロセントは濃厚の瀝青なりとの好成績を示したりといふも本年に入りて寶田、日本石油、久原鑛業會社にて試掘を行ひつゝあり、爾後の成績面白からず完全なる採取を見るの時期は殆ど未定なる由。

●**度量衡統一案** 度量衡が統一されて佛國式メートル法に改正し、繁雜を防ぎ能率を増進する様にされると云ふ事は既に報じた事であるが、農商務省の度量衡檢定所に於ても、去る大正六年の議會で問題になつて以來、官民合同の調査會を設けて鋭意研究を續け、この調査會に於ても各種ある何れの制度を採つて統一すべきかに就ては大分議論をなす者もあつて仲々難しい問題になつては居たが、十の位取りであつて從來我國の度量衡に接近して居る佛國式メートル法が、最も簡單に改正し易いと決し愈來る議會に農商務省案として提出される事になつた、統一すると云つても酒を一立とか反物を一米突とか云ふ風に多年の慣習を急激に破る事は不可能な事である故にこの案が通過した曉は先づ各官省から改める事になるらしい先づ第一に計畫して居

る官廳は陸海軍省の既に施行して居る役所の外に鐵道省、逓信省、文部省の三省で、鐵道省は鐵路の哩數を基に改め貨物手荷物等の斤を瓦に改める等である。

●**英鐵對日輸出** 最近入電によれば英國商務院は九月中に於ける英國金物の日本向輸出高を左の如く發表せり。

鐵 棒 四六〇 亞鉛引鐵板 三、〇〇〇
鋼 鐵 棒 七、〇〇〇 鐵 力 一六三
同 板 一、八〇〇
尙一月以降九月底迄の右各種鐵材の日本向輸出高左の如し。

鐵 棒 二四、二六七 亞鉛引鐵板 二四、二六五
鋼 鐵 棒 一七、五四四 鐵 力 九、二五九
同 板 四一、二二八

●英國鋼鐵市況

最近當市着電報英國シエフイキールド商業會議所の意見に依れば世界に於けるシエフイキールド鋼鐵需要は尙ほ有望にして、人氣今著しく落付き、金融引緩み、租稅負擔輕減さるゝに於ては諸工業發展を促しシエフイキールドの製鐵事業は必然的繁忙を來す可し、米國ユー、エス、スチール會社は最近獨逸及び白耳義の製鋼業者と提携して、世界の鋼鐵市場を占領すべき計畫あり、爲に一部に恐慌を來たせり 又、新西蘭政府は鐵道材料の入札購入を行ひ、グラスゴウのノース、ブリチツシュ會社は鐵道機關車二十五輛(一輛に付き二萬二千磅にて)を納入するに決し、又、二十キヤメル、レーアド會社は貨物車輛二千五百臺

(一臺三百廿五磅宛)を納入に決せりと。

●米鐵業者の對歐發展 米國に於て最も勢力ある製鐵業者ユー、エス社は戰後世界的に其の勢力を扶殖する必要上自耳義及び佛蘭西製鐵業の原料及び製產品の需給提携を圖る爲め目下交渉中なるが右交渉成立の上は更に進んで獨逸の製鐵工場を買收し佛白兩國より原料鋼鐵の供給を受け以て獨逸の各種工業の復活を圖り、更に之によりて他の利益を占めんとするにあるものなるが、斯の如くして世界製鐵の市價は悉くユー、エス社に支配さるゝに至るべく尙ほユー、エス社は獨逸クルツプ會社の或る權利をも合併買收する事とし着着進行中なるが、斯く米國資本家が歐洲方面に向つて投資する其半面には戰時中英國を経て佛、白、伊等に多額の金融を爲したるも目下是等の諸國は現金を以て償却するの途なきより寧ろ此際利權を獲得するの意圖に出でたるものにしてユー、エス社と米國政府との間に相當後援の了解あるものなりと。

●米國鐵類相場 紐育發當地入電に依ば米國鐵類相場はビツクバーク渡にて一噸に對し銑鐵はノザン四十七弗五十仙、サザン四十二弗五十仙、ベセマー四十六弗九十六仙、鋼片ベセマーは五十五弗唱へなり、而して以下百封度に對して、鐵板タンクプレート二弗八十五仙、亞鉛引シート三〇番八弗、鐵線亞鉛引二八番四弗五十仙、鋼型二弗九十仙、鋼棒三弗唱へなりと。

●鐵物在庫品調 鐵材は輸出國として英本國の同盟罷工の爲め輸入の杜絶せると共に米國よりの輸入も今春以來漸次減少し一方内地生産も著るしく縮少し問屋輸出入商も市價維持の爲に或る期間不賣同盟を組織し暴落を阻止する事に努め居れるが最近の調査に依る鋼鐵在庫品は神戸八萬八千噸、手持品五千噸、橫濱商品倉庫四萬噸、稅關倉庫五萬噸、東京五萬噸、手持品三萬五千噸、其他二萬噸、合計約二十八萬噸の在庫品ありと云ふ。

●滿洲支那鑛業狀態(支那鑛業時報)

●一、自大正八年十一月至大正九年三月 本溪湖煤鐵公司出銑高

十一月	九、三五〇噸	十二月	八、四〇〇噸
一月	七、三五七	二月	三、七二一
三月	三、五二八		

●二、自大正八年十一月至大正九年三月 本溪湖煤鐵公司出炭高

十一月	四四、二三五噸	十二月	四九、四三五噸
一月	五一、〇六四	二月	三八、六一六
三月	五〇、六六五		

●三、本溪湖製鐵所鑛石分析表

一、各使用鑛石

種別	鐵	礬土	硅酸	石灰	苦土	滿掩	鐵百	鐵百	備考
廟兒溝富鐵	65.60	10.8	3.3	0.2	0.04	0.001	痕跡	痕跡	磁鐵鐵
廟兒溝貧鐵	60.35	0.8	1.4	0.6	0.0	0.001	痕跡	痕跡	磁鐵鐵
廟兒溝貧鐵	55.20	0.3	1.8	0.4	0.0	0.001	痕跡	痕跡	磁鐵鐵
廟兒溝貧鐵	37.8	1.3	4.7	0.6	0.0	0.001	痕跡	痕跡	混合

价川鐵 四七、一八八 四七、九六二
安岳鐵 五、〇〇〇 七五、九四〇
金州鐵 四、五七五 一、二五三

朝鮮鐵 四、三三三 一、〇〇〇

團鐵 五、八二二 一、〇〇〇

黑橋鐵 五、〇〇〇 一、〇〇〇

西浦鐵 六、三六一 一、〇〇〇

八般鐵 六、一四六 一、〇〇〇

滿倫鐵 二、七五五 一、〇〇〇

銑混滓 二、七五五 一、〇〇〇

二、其他原料
種別鐵 硅酸礬土 石灰 苦土 弗素 磷 硫黃 灰分 備考
石灰石 〇、三三三 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇
螢石 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇
骸炭 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇
骸炭灰分 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇 〇、〇〇〇

四、自大正八年十一月至大正九年三月鞍山鐵礦產出高

採鐵所	出鐵高	積込高	前月末現在貯鐵高	本月末現在貯鐵高
西鞍山	二、三二七	三、〇七四	五〇、九三五	五〇、一八八
大孤山	二、〇八〇	—	七五、九四〇	七三、八六〇
櫻桃園	二、五三一	三、一〇五	一六、二一六	一五、六四二
王家堡子	三、〇二四	—	—	三、〇二四
合計	九、九六二	六、一七九	一四一、〇一一	一四四、七九四

五、漢冶萍公司近況 漢冶萍公司是本年二月八日株主大會を開き孫寶琦より同会社の營業狀態並に世界戰後の影響を受くる所を陳述し工廠及各鐵山の產額收支を左の如く報告せり。

- 一、漢冶萍製鐵所の生鐵、十三萬六千七百五十六噸
- 二、大冶鐵山の鐵石、六十三萬三百噸
- 三、萍鄉炭山の石炭、五十二萬六千二百四十噸、煉炭二十一萬六千噸

月二十				月一				月二				月三			
西鞍山	二、二五六	四、四八二	五〇、一八八	四七、九六二	西鞍山	一、二三五	三、二九〇	四七、八二四	四五、八一〇	西鞍山	五、四八九	二、二九五	四五、八一〇	四九、〇〇五	
大孤山	二、七八七	—	七五、九四〇	七八、七二七	大孤山	一、八二七	—	八二、〇七二	八三、九〇九	大孤山	五、四五三	—	八三、九〇九	八九、三六二	
櫻桃園	一、五二四	四、六三五	一五、六四二	一二、五三一	櫻桃園	一、九三二	三、三七五	一一、六三八	一〇、一九五	櫻桃園	一、八一七	二、二九五	一〇、一九五	一八、五二二	
王家堡子	六、〇二六	—	三、〇二四	九、〇五〇	王家堡子	一、九〇一	—	一四、〇三〇	一五、九三一	王家堡子	三、二五二	—	一五、九三一	一〇、二八九	
合計	一二、五九三	九、一一七	一四四、七九四	一四八、二七〇	合計	一、二四五	三、九六〇	一四八、二八〇	一五、五六五	合計	一五、九二四	四、五九〇	一五五、八四五	一六七、一七九	
西鞍山	一、八三二	一、九七〇	四七、九六二	四七、八二五	西鞍山	一、二三五	三、二九〇	四七、八二四	四五、八一〇	西鞍山	五、四八九	二、二九五	四五、八一〇	四九、〇〇五	
大孤山	三、三四五	—	七八、七二七	八二、〇七二	大孤山	一、〇八八	一、九九〇	一二、五四一	一一、六三八	大孤山	五、四五三	—	八三、九〇九	八九、三六二	
櫻桃園	一、〇八八	一、九九〇	一二、五四一	一一、六三八	櫻桃園	四、九八〇	—	九、〇五〇	一四、〇三〇	櫻桃園	一、八一七	二、二九五	一〇、一九五	一八、五二二	
王家堡子	四、九八〇	—	九、〇五〇	一四、〇三〇	王家堡子	一、二四五	三、九六〇	一四八、二八〇	一五、五六五	王家堡子	三、二五二	—	一五、九三一	一〇、二八九	
合計	一、二四五	三、九六〇	一四八、二八〇	一五、五六五	合計	一、二四五	三、九六〇	一四八、二八〇	一五、五六五	合計	一五、九二四	四、五九〇	一五五、八四五	一六七、一七九	
西鞍山	一、二三五	三、二九〇	四七、八二四	四五、八一〇	西鞍山	一、二三五	三、二九〇	四七、八二四	四五、八一〇	西鞍山	五、四八九	二、二九五	四五、八一〇	四九、〇〇五	
大孤山	一、八二七	—	八二、〇七二	八三、九〇九	大孤山	一、八二七	—	八二、〇七二	八三、九〇九	大孤山	五、四五三	—	八三、九〇九	八九、三六二	
櫻桃園	一、九三二	三、三七五	一一、六三八	一〇、一九五	櫻桃園	一、九三二	三、三七五	一一、六三八	一〇、一九五	櫻桃園	一、八一七	二、二九五	一〇、一九五	一八、五二二	
王家堡子	一、九〇一	—	一四、〇三〇	一五、九三一	王家堡子	一、九〇一	—	一四、〇三〇	一五、九三一	王家堡子	三、二五二	—	一五、九三一	一〇、二八九	
合計	六、八九五	六、六一五	一五五、五六五	一五五、八四五	合計	六、八九五	六、六一五	一五五、五六五	一五五、八四五	合計	六、八九五	六、六一五	一五五、五六五	一五五、八四五	
西鞍山	五、四八九	二、二九五	四五、八一〇	四九、〇〇五	西鞍山	五、四八九	二、二九五	四五、八一〇	四九、〇〇五	西鞍山	五、四八九	二、二九五	四五、八一〇	四九、〇〇五	
大孤山	五、四五三	—	八三、九〇九	八九、三六二	大孤山	五、四五三	—	八三、九〇九	八九、三六二	大孤山	五、四五三	—	八三、九〇九	八九、三六二	
櫻桃園	一、八一七	二、二九五	一〇、一九五	一八、五二二	櫻桃園	一、八一七	二、二九五	一〇、一九五	一八、五二二	櫻桃園	一、八一七	二、二九五	一〇、一九五	一八、五二二	
王家堡子	三、二五二	—	一五、九三一	一〇、二八九	王家堡子	三、二五二	—	一五、九三一	一〇、二八九	王家堡子	三、二五二	—	一五、九三一	一〇、二八九	
合計	一五、九二四	四、五九〇	一五五、八四五	一六七、一七九	合計	一五、九二四	四、五九〇	一五五、八四五	一六七、一七九	合計	一五、九二四	四、五九〇	一五五、八四五	一六七、一七九	

備考 本月末王家堡子貯鐵中九〇〇六噸を櫻桃園貯鐵量に振替たり

漢陽工廠大冶鐵山の鐵路軌道材料及鑛石の賣出額は合計一千五百六十萬三千五百六十九兩、萍鄉炭山賣出額は合計銀二百七十五萬六千兩なり當日の重要議題は次の三項なり。

一、日本製鐵所に向て鑛石の賣渡價格契約改訂の件

二、鑛山製鐵賣渡額減少を交渉するの件

三、湖北零郷鑛山公司の株券の大部分は力を盡して獲得するの件

最後に董事の選舉をなしたるに當選者は孫寶琦、李伯行、盛澤承の三氏とす。

同公司与湖北人 湖北人は漢冶萍と交渉すること多年に及びたるも尙紛糾の中にありて六百萬元返済の期に到達したりと雖も二百萬元の株券を以て一時の填め合せをなすの問題は北京より同郷の余明卿、張則川、呂超伯、徐漢卿等を歸鄂せしめて交渉の進行を爲さしめんとせり、惟ふに事體頗る重大にして該代表の歸鄂以來餽贈に奔走し頗る多忙を極めたれども、未だ何等の取り極めたる事なし、湖北人は智識程度高きに因り此種の股權を奪はんとするも湖北人のために公有を小人數の手中に落して其壟斷に任すべからず、況や株券の填給の如きは最も反對する所なり、蓋し漢冶萍の基本は二千萬元にして若し二百萬元の股票を以て填給するとも湖北人は其十分の一の株主に過ぎずして漢冶萍と同等の利害を負ふも目下漢冶萍の欠損は外債殆ど四千萬元にして危險に頻して償還し能はず、況んや漢冶萍は鄂款

を負欠し其關係は直接官票の基本金に及ぼし一度或は失敗すれば則ち金融停滯して吾が湖北人の害を受くるのみに止まらず漢冶萍問題は即ち鄂財政の死活問題なり、然るに填股の説は其由來する所則ち小數の野心家が漢冶萍公司の承認を聞き返款六百萬元は遂に黨徒を合糾して鄂產清理處を組織せり、其意圖は此の六百萬元及び靈郷鐵鑛漢冶萍公司は該清理處を以て占有せんと欲せしも之と接洽せざるにより彼等は狼狽して漢冶萍公司に對し、只だ四百萬の其餘の二萬元は該公司の股票を以て一時を凌がんことを願ひたるも漢冶萍公司の股本の缺損は殆ど人の知る處にして彼等の主張せる二百萬元股票の填給は二百萬元を讓去するに異らざるなり、彼等自らも不可能を知らながら人に信を見せ懲通として北京の同郷官出は傀儡となり一度目的の到達を俟ちて傀儡を踢開せん此れ彼等黑幕中の計畫なり同郷官は其奸計を察せず代表數人を舉げて湖北に歸らしめ官廳に向つて三箇條の要求を提出したり、即ち

一、漢冶萍の債務は須く鄂產清理處より交渉する事

二、漢冶萍は現洋四百萬元に二百萬元の股票を填給すること

三、所有漢冶萍將來の款は鄂產清理處の保管に歸するものと

聞く所に依れば以上の條件は官廳は全部否認し省議員も多く不賛成にして目下醞釀中に在りと。